

冬の星空

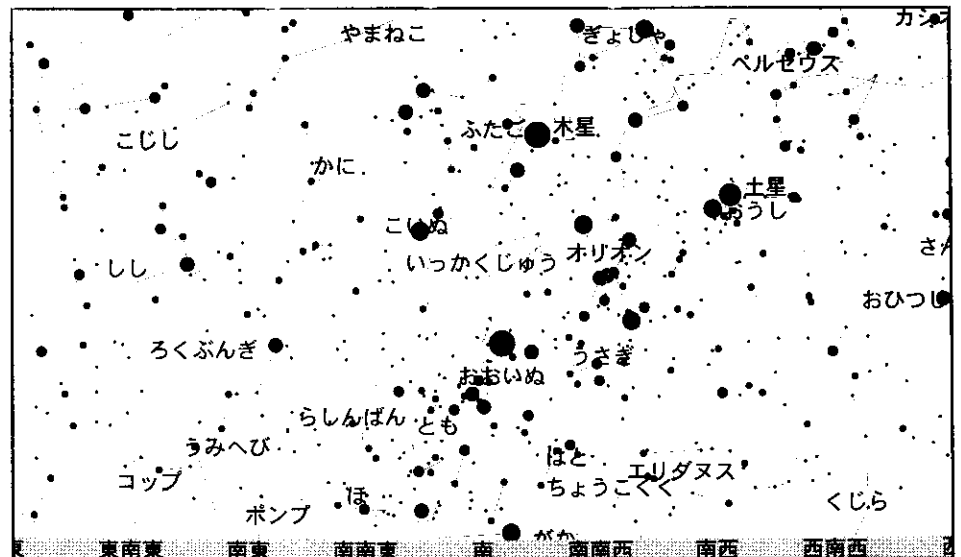
【児童センター冬の星空2月号】

2月の星空は、オリオン座を中心として土星や木星が加わり、2等星を含めると十数個の星々が天頂をおおいます。真冬の凍てつく寒さになりますが、防寒対策をしっかりとって満天の星々をお楽しみ下さい。4日は立春です。24節句の一つで旧暦の春の始まりとなります。また、立春の前日を節分といい“豆まき”をして悪い鬼を退散させたり、悪いことを遠ざける力があると信じられています。

＜2月の星空カレンダー＞

4日（月）●下弦
12日（火）●新月
20日（水）●上弦
27日（水）○満月

右の星図は、2月中旬の夜9時ごろ、南の方向を中心に見た星空です。



☆☆☆☆☆☆

《天文現象》

月と地球の平均距離は、38万4千kmです。月の軌道はややつぶれた円（楕円）になっています。今月の27日に月は約36万kmと地球に近づきますので普段よりも大きな満月を見ることができます。

☆水星：太陽の登る前の東空、地平線付近に水星を見る

ことができます。22日は西方最大離隔です。

☆土星：おうし座の中でやや赤く0等星輝く土星が見えます。おうし座の角であるアルデバランと対になった位置に土星が移動しますのでV形の図となります。

☆木星：先月1日に木星は地球から見て太陽の反対に位置になります。明るく輝く星（-2.7等）が木星です。木星は約12年の周期で太陽を1周する惑星です。

